

菊川町公民館

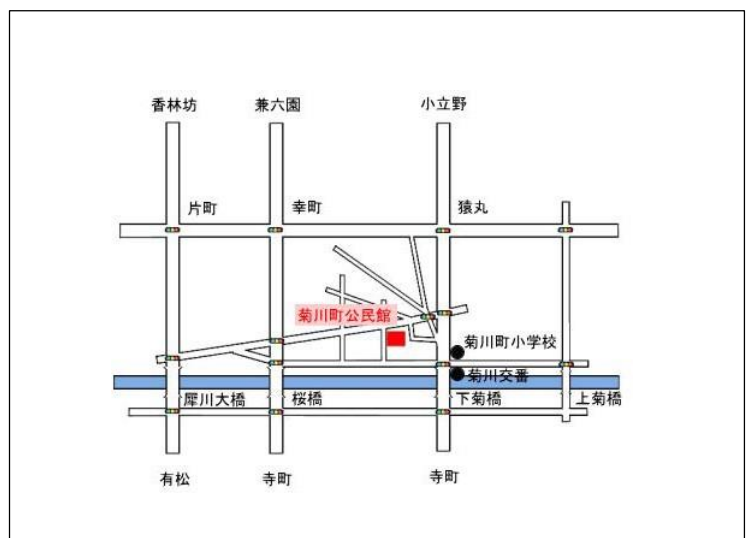
所在地	金沢市菊川2丁目3-3
電話	076-261-1769
FAX	076-256-1729
メールアドレス	kikuga-k@spacelan.ne.jp
ホームページ	https://kikugawacho-k.com/



設置年月	平成14年9月5日
ブロック	城南
対象区域	菊川地区
人口	5900人（R 6年現在）
世帯数	2,116世帯
館長	戸田 正登
副館長	齋藤 佐武朗、小高 和之、富永 正英
主事	原 恵子
主事補	宮川 綾子
組織（部）	総務部、スポーツ部、文化部、生涯学習、青少年部
運営審議会委員数	10人
公民館委員数	57人

施設区分	鉄筋コンクリート
建築年月	昭和61年3月
建築面積	139.84㎡
敷地区分	借り上げ
開館時間	9:00
休館日	土曜日・日曜日
年間利用者数	約7,000人

MAP



公民館重点目標

- 1、菊川地区住民の教養と文化向上を図るために、学級・講座の一層の魅力化に努める。
- 2、体育・レクレーションを通して健康な身体づくりとスポーツ活動の日常化に努める。
- 3、学校や地域の関係諸団体と連携・協力を図り、青少年の健全育成の充実に努める。
- 4、生涯学習の拠点として健康、教養、趣味等の学習の機会の充実に努める。
- 5、親しまれる広報活動を工夫して菊川地区住民と情報を共有し、公民館活動の理解を図る。
- 6、菊川地区の各団体や機関と積極的に関わり、相互連携の推進に努める。

公民館のサークル・教室活動

パソコン、麻雀、オカリナ、ビューティーエクササイズ、ソーイングあじさい、ペーパークラフト、書道、水彩画、社交ダンス、フラワーアレンジメント、機能改善ストレッチ教室、小唄

公民館の特色・事業と取り組み

1、きくがわSDGs楽級の取り組み

きくがわ女性楽級から、きくがわSDGs楽級へと改設し、性別を問わず学ぶことができるSDGsの理念に沿った基本的・総合的な学習会を行っている。今までの既存事業をSDGsの視点に置き換えて展開することで、無理なく新事業への挑戦となるよ結び、新たな公民館活動の担い手づくりや地域の活性化につなげられるよう努めていきたい。

2、きくがわ「防災すごろくづくり」事業の取り組み

安心・安全なまちづくりの構築をめざし2022年から2か年計画で「防災すごろくづくり」に取り組むこととし、幅広い世代が楽しむことができる「すごろく」の1マス1マスに地域住民が防災学習で得た知識をワークショップを通じ提案していただく学習スタイル。みなさんからの案を可能な限り反映させることで地域の実情に特化した「防災すごろく」の作成にとりくんでいる。地域住民の主體的な関わりによって創り上げられる「防災すごろく」のプロセスこそ、魅力的で活力ある地域づくりを推進し「安心・安全な住み続けたいまち 菊川」をつくるきっかけとしたい。

3、犀桜小学校PTAと連携・協働ですすめる防災事業への取り組み

防災すごろくづくりから見えた課題として核家族化、共働き世帯が増え、子どもたちだけで過ごす時間帯に万一の災害がおきたときのことを想定した避難について家族間だけではなく地域で考える必要性を感じたことや、支援の必要な方の立場にたった「防災すごろく」の視点をもっと加味される必要があったのではないかと感じ、地元小学校PTAと連携することで①家庭内での防災意識の向上②活動を通じ家族の絆を深める③親子で得た防災意識の波及を地域へと拡げる④地域社会が高齢化によって疲弊するのではなく本事業を通じ地域の活性化につなげたい⑤障がいのある方への学習を支援することなどをねらいとしている。

地域住民が単に地縁的な結びつきによる活動でなく、安心・安全な菊川づくりをめざすという広範な取組となることが期待される

公民館の予算

歳出予算総額	22,133千円
うち人件費	8,885千円
うち管理費	7,706千円
うち事業費	5,460千円

歳入予算のうち

金沢市の運営委託費	12,181千円
地元負担金	1,590千円

その他の概要

館報発行回数	年3回
地域へのお知らせ回数	月2回
管理人の設置	有
他都市・公民館との交流	無
AEDの設置	有

施設

1階

和室

2階

講習室、調理室、図書室

3階

ホール

利用できる設備

1階

和室内お茶席、麻雀卓

2階

調理室、調理器具、囲碁

3階

音響設備、スクリーン、プロジェクター

館内平面図

